

令和5年度 第5回 江南区自治協議会

日時：令和5年8月24日（木）午後1時30分～

会場：江南区役所3階 302会議室

1. 開会

○渡邊地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和5年度5回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

(資料確認)

○渡邊地域総務課長補佐

本日の会議について、齋藤委員、今井委員、岡野委員から欠席のご報告をいただいております。

2. 会長あいさつ

○渡邊地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、中野会長からご挨拶お願いいたします。

(会長あいさつ)

○渡邊地域総務課長補佐

次に議題に入りますが、ここからの進行は中野会長にお願いいたします。

3. 議題

(1) 令和5年度 区役所企画事業等の実施状況について

○中野会長

それでは、次第に沿って進めていきます。ご意見のある方は挙手のうえ、簡潔明瞭にお願いいたします。

はじめに (1) 令和 5 年度区役所企画事業等の実施状況について、江南区地域総務課より説明をお願いいたします。

○松屋地域総務課長

地域総務課の松屋でございます。

まず、資料 1-1 をご覧ください。令和 5 年度の区役所企画事業を整理した一覧表となっております。特色ある区づくり予算等について説明いたします。前回の本会議において説明させていただきましたとおり、区役所が実施する区役所企画事業について、自治協議会の意見を反映させながら、予算編成を行っていきたいと考えております。

本日は、令和 5 年度区役所企画事業の実施状況などについてご説明いたしますので、本会議終了の各部会での意見交換などの基礎資料としてご活用いただければと思います。

表頭右から 2 番目の部会区分の欄は、各事業の所管する分野に該当する部会を整理したもので、本会議終了後、各部会にて意見交換をする際の目安として活用いただきますよう、お願いいたします。

なお、健康福祉・子育て・防災・安心安全分野に関する取組みに対しましては、各区によってサービス水準が異なることは望ましくないという趣旨により、区役所企画事業とは別枠の予算となっております。委員や部会からの意見に関しましては、本庁各課へ意見を伝えるなどの方法となりますが、区役所企画事業と併せて報告をさせていただきます。

資料 1-2 をご覧ください。A3 横の令和 5 年度特色ある区づくり予算（区役所企画事業）の実施状況をご覧ください。主な事業について資料掲載の事業順に担当課長よりご説明させていただきます。

まずはじめに、1 番「みんなで語り、考える、使いやすい公共交通」は、区バス・住民バスの利用を促進するため、啓発活動を実施するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保への支援を行うなど、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげる事業となっております。

令和 5 年度の実施状況といたしましては、区バス乗車体験学習会を小学校 5 校で実施したほか、今後、高齢者の乗車運賃が半額となるシルバーチケットの作成支援を横バス沿線で実施する予定としております。また、大江山地区での移送支援や両川地区での買い物支援などをコミュニティ協議会などとともに実施・検討していく予定としております。

成果・課題としましては、区バス・住民バスの利用者数は回復はしてきているものの、住民バス路線によっては、運賃収入が 2 割を割り込んでいる路線がありまして、さらなる利用促進が必要となっております。

令和 6 年度の方向性といたしましては、引き続き利用促進に取り組むほか、地域団体や福祉部門などと地域の実態にあった移送について、引き続き検討・実施していきます。また、収支率が低迷している路線の沿線住民に対し、利用状況などの共有や利用促進に重点的に取り組んでいきます。

○落合建設課長

2 番、3 番の事業は建設課でございます。よろしくお願いたします。

2 番「こあがの川フィッシング大会」では、小阿賀野川の水辺空間を活用し新たな魅力の創出と交流人口の増加につなげる目的で実施しているものであります。今年度の実施は 9 月 10 日（日）に、昨年と同様、小阿賀野川河川公園酒屋広場で開催を予定しております。釣りの初心者でも分かりやすいように、インストラクターが釣り方やマナーの指導を行うなど、フィッシングを通じて水辺空間での楽しみ方を学ぶ内容となっております。8 月上旬から親子 10 組の募集を案内しておりますが、すぐに定員に達しております。これまでの経過や来年度の方向性ですが、令和 2 年度、3 年度とコロナ禍で中止しております。令和 4 年度に初めて実施しておりますが、参加者からは好評だったという声をいただいております。昨年度や今年度実施した内容を踏まえ、来年度以降も開催していきたいと考えております。

次に、3 番「いい汗 いい食 江南健幸ライド」です。小阿賀野川などの水と緑のネットワークを作る事業を活用しまして整備したサイクリングロードの利用促進に取り組むため、区の名所などを休憩ポイントして自転車で周遊し、地元の食などが楽しめるサイクリングイベントとして健康づくりの推進、交流人口の拡大を目的に行うものであります。健幸ライドの実施も、先ほどのフィッシング大会と同様に 9 月 10 日（日）に予定しておりまして、ロングコース 42 キロを 160 名、ショートコース 16 キロを 40 名募集して開催を予定しております。今のところの募集の状況でございますが、ロングコースはすでに定員に達しております。ショートコースで残り 9 ということであります。サイクリングイベントとしましては今年度で 10 年目ということで、自転車愛好者を中心に参加者もすぐに集まり定着しておりますけれども、江南区民が参加しやすいように先行募集枠を設けたり、区だより、ラジオな

どで広報を行いながら参加募集に努めております。来年度以降も参加者、アンケートのご意見を参考にしながら、引き続き健康増進や魅力の発進に努めていきたいと考えております。

○古泉健康福祉課長

健康福祉課の古泉です。

4「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」についてご説明いたします。江南区ふれあい・ささえあいプランの推進は、福祉施設や特別支援学校等が集まる地域特性を生かし、区民、福祉団体、コミュニティ協議会、区社会福祉協議会、区役所等が協働することで区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念である「みんなで、ささえあい安心して暮らせるまち江南区」を目指すための事業です。令和5年度実施状況といたしましては、江南区ふれあい・ささえあい交流事業「こうなんふれ愛まつり」を10月15日（日）に新潟ふれ愛プラザならびに亀田駅前地域交流センターを会場に、同時開催の共生のまちづくり「ともにアート展」については、亀田駅東西自由通路を会場に実施する予定としています。また、昨年度に引き続き、障がい者アートの巡回展示を横越出張所と曾野木コミュニティセンターの2か所で、障がい者週間に合わせて12月に実施する予定としています。江南区福祉センター内「子どもたちの居場所」については、福祉センターでのイベントにおいて、子どもたちが企画・運営に携わるイベントを開催するほか、子どもたちの活動をサポートする人、「フェスサポ」と呼びますが、フェスサポを設置し、子どもたちが企画・運営するクラブ活動等を支援することで、子どもたちの居場所の活性化を図りたいと考えております。

成果・課題についてですが、ふれあい・ささえあい交流事業については、区内外から多くの方が訪れ、評価の高いイベントになっています。また、「子どもたちの居場所」については、福祉センターが新型コロナワクチンの接種会場でもあったこともあり、子どもたちの利用が減少していましたが、現在は戻りつつある状況でございます。

令和6年度の方向性については、「ふれあい・ささえあい交流事業」は引き続き行い、江南区の地域特性を生かして事業を継続していきます。子どもたちの居場所については、居場所を利用する子どもたちならびにフェスサポの登録者を増やし、勉強やクラブ活動などの活性化を図っていきます。

○塚本産業振興課長

産業振興課長の塚本でございます。

5番、6番、7番ということで2ページをご覧いただきたいと思います。5番「江南区まるごとプロモーション」は予算額500万円です。これまでそれぞれの視点で実施してまいりました企画を具体的に実施するとともに、農商工連携、官民連携を加速するための事業でございます。今年度の取り組みについて企画ごとにご説明したいと思います。梅まつりは年度末の3月の開花予想に合わせて、散策プラス、いわゆるワンデイイベントという、これまでの形の企画を実施する予定です。ワンデイイベントは休みの日に区役所を起点に歩いていただいた方にプレゼントを差し上げたり、休憩所を設けたりといったことがかつて行われておりましたけれども、今年度につきましてはその形に戻したいと思っています。

「旬果旬菜いきいきフェスタ」は、コロナ前に中央卸売市場の市場まつりと合同開催の形で実施されてきたことから、今年度改めて市場に確認させていただいたところ、同時開催できませんという回答を受けました。これはコロナの感染について、食品を扱う場所でもあることから、非常に慎重になっていると思われるのですけれども、これらを踏まえ、8月31日に実行委員会幹事会を開催して、今後の対応を協議する予定でございます。

まちあるき、バスツアーにつきましては、今日は一日袋津三昧実行委員会という実行委員会に私どもも参画いたしまして、地域の魅力発進とまち歩きイベントを9月24日に、袋津を含めて区内を巡るバスツアーを3月あたりに実施する予定でございます。

官民連携事業につきましては、現在、農産物の販売促進案件と加工品開発の案件につきまして相談を受けております。早急にまとめて着手したいと考えております。

若手経済人や農業者との懇話会につきまして9月以降に無事開催していきたいと考えております。令和6年度において地域団体をはじめ経済団体、農業団体と協働で江南区の魅力を発信する取組みをプロモーションするというベースで進めたいと考えておりますけれども、これまで最大の集客を集めてまいりましたいきいきフェスタが、今後どのように実施されるのか。新型コロナウイルス感染症の対応が今年2類から5類に移行し、一定の時期が経過した来年度、改めて市場関係者と協議したうえで、今後のいきいきフェスタについて協議したいと考えております。

続いて、6「地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり」、予算額 300 万円です。これまでどおり、繊維組合では生産企業、地元コミュニティ協議会や商工会議所などと組織した亀田縞利用促進協議会に参画して事業を実施しています。これまでの取組みの積み重ねが、G7 財務省・中央銀行総裁会議や全国政令指定都市小学校校長会などで採用されたということでお聞きしております。今年度につきまして、亀田縞のさらなる認知度向上に向けた取組みとして、産地にふさわしい景観づくり、これまでタペストリーを掲示しておりますが、今年度は江南区内で 2 か所設置する予定です。亀田縞を核とした区の魅力発信の情報誌は 6 月に第 5 号を発行いたしました。残りは 9 月、12 月、3 月にそれぞれ発行する予定でございます。地域と協働で進める亀田縞の魅力発信につきましては、8 月 2 日に亀田東小学校コミュニティ協議会と共催で亀田縞のうちわ作り体験会を実施しております。亀田縞を活用した空間づくりへの支援としましては、亀田中島で近く開業が予定されている新潟亀田縞商店と、亀田市民会館内の喫茶・かめじまカフェ、亀田駅前の花のきむらさんの 3 事業所より提案を受け採択し、現在、着手中でございます。いずれも内装やファサード等で活用が予定されております。このほか、新潟大学創生学部の実施するフィールドスタディーズを受け入れまして、若者に向けた亀田縞の提案を受け、現在、その提案についての取扱を検討している最中です。令和 6 年度以降、引き続き江南区内のさまざまな企業や団体から亀田縞の PR の意見などを募集したり、地域の皆さんと一緒に進めていきたいと考えております。

7 番「地域商業活性化支援」については 250 万円です。区全体で取り組む商業活性化の取組みを商工団体と組織した江南区魅力再発見実行委員会に私どもも参画し実施しております。イベント系の事業といたしましては、今年度も、亀田六斎市の開設記念日である 11 月 3 日にサンキューマルシェを亀田三・九市に合わせて実施する予定でございます。区全体の企画といたしましては、観光等低迷する商品喚起を目的に、本日、チラシを配らせていただきましたけれども、お店元気プラスキャンペーンと称したスタンプラリーを 9 月 1 日から 11 月 30 日まで実施する予定でございます。昨年度同様、私ども区づくり事業で実施する部分と、江南区の料理仕出し組合が補助金を受けて実施する部分が合同で実施される企画になっておりまして、500 円から 4,000 以上の買い物をするとともに応募が可能となります。抽選で 2,000 円相

当額の商品券が当たる部分と、割烹・仕出し店で使える 1 万円券のどちらかを選択していただいたうえで応募していただき当たったら送られてくるといった企画になっております。来年度以降の地域商業活性支援の取扱につきまして、自治協議会の皆様からさまざまなご意見や提案をお伺いしながら、この事業について深掘りするのか、1 回立ち止まって、これからのことを考えるのか、そういったそもそもの部分を含め検討したいと考えております。

○松屋地域総務課長

次に、8 番「『江南区を PR』魅力発信プロジェクト」につきましては、首都圏の学生や子育て世代に向け、江南区の住みやすさや魅力を発信することで、区への移住促進を図る事業になっております。今年度の実施状況といたしましては、区内企業・団体 10 社から物資提供の協賛をえて、県外の学生 100 名に向け「ふるさと江南区宅配便」を 10 月下旬に送付する予定としております。また、ふるさと江南区宅配便送付者を中心とした参加者を募集し、県外在住の学生同士の交流イベントを首都圏で 11 月下旬ごろに実施したいと考えております。これまでの成果といたしましては、宅配便を受け取った学生から、地元の魅力に気づいた、地元で就職したいなどといった事業目的に合致した回答が多数あり、一定の成果が見られたと考えております。宅配便をきっかけに U ターンを促進する取組みにつなげていきたいと考えております。令和 6 年度の方向性といたしましては、区の魅力発信や関係交流人口の拡大、学生の U ターン促進につながる取組を検討、実施していきたいと考えております。

○塚本産業振興課長

続きまして、9 番「文化芸術の創造・発信」でございます。予算額は 325 万円です。区民に向けて質の高い文化芸術作品を提供して、公募型企画提案事業として広く募集を実施いたしました。これは平成 24 年度の開館以来、継続的に公演事業費として実施しているところでございます。今年度も記載のとおり、2 公演を予定しております。まず一つは、12 月 3 日（日）13 時 30 分から、浪曲師・玉川太福独演会というものになります。落語、講談とともに日本三大話芸である浪曲は浪花節とも言われまして、日本の義理人情を伝える古典のイメージから、どちらかという高齢者向けに思われがちでございますが、玉川太福さんの浪曲は日々のネタを笑いに落とし込む新作浪曲で、若者にも大変人気だということに加え、新潟市出身です。業者いわく、

近く必ずブレイクするといわれておりまして、ぜひご覧くださいということ
でございます。なかなか浪曲を聴く機会はないかと思いますが、自治協議会
の皆さんからもぜひご参加いただきたいと思ひます。

二つ目は、年明け3月2日（日）13時30分から、「奥村愛 はじめてのク
ラシック演奏会」ということで、こちら新潟市出身のバイオリニストの奥
村愛さんの演奏会です。4年ぶりのクラシック演奏会となります。

以上が、今年度の文化創造・発信事業の内容でございます。私ども江南区
文化会館におきましては、公民館職員が管理運営あたっていることから、自
主事業を持つことが非常に厳しいというところではございます。そういった
意味も含め、区づくり事業として、別途予算を用意したうえで、区民の皆さ
んから質の高い文化芸術公演に親しんでいただくという趣旨に基づき、次年
度も事業を継続して実施したいと考えております。

次に、10番「北方文化博物館を活用した文化発信事業」、170万円の事業
となります。今年度で3回目の取組みになります。企画の趣旨といたしまし
ては、今年度のみならず新潟市有数の歴史的文化施設であり、なおかつ観光
施設でもある北方文化博物館を舞台に、施設の魅力の再認識、地域の魅力
を知っていただき、地域アイデンティティの喚起や地域に住んでいらっしゃる
方から改めてこの地域の歴史を深めていただくことを目的としております。
実施時期につきましては現在調整中ではございますが、北方文化博物館もい
ろいろな企画をやっていることから、今年は11月後半に期間中に何とか土
日を入れ込んで実施するというように調整しておりますし、内容についても、
現在、北方文化博物館と調整中です。この企画は今年度で3回目となりまし
た。事業の継続をはじめさまざまな意見を伺いながら、この事業を来年度以
降、どのような形にしていくか、ぜひご意見を頂戴したいと考えております。

○松屋地域総務課長

11番、区役所企画事業ではありませんけれども、区自治協議会提案事業で
す。区役所と自治協議会と協働・連携しながら、地域が抱える課題の解決と
地域活性化に必要となる取組みを推進する事業でございます。今年度につき
ましては、各部会でそのような検討が進められていると思ひますが、江南
区の魅力発掘・発信プロジェクト、多世代交流みらいプロジェクト、誰でも
安全で安心して暮らせるまちづくりプロジェクト、地域課題解決サポートプ
ロジェクトとなります。これまでの成果・課題につきましては、地域課題解

決サポートプロジェクトに関しましては、昨年度は2団体ということで、提案が少なかったのかなと思っております。今後の方向性につきましては、地域課題解決サポートプロジェクトにつきましては、コミュニティ協議会のほうにアンケートを実施し、必要性ですとか改善点などについて総務特別委員会で来年度以降の方向性について検討していきたいと考えております。

○古泉健康福祉課長

健康福祉課です。

令和5年度主な事業、区づくり事業以外について説明します。資料1-3をご覧ください。はじめに、1「江南区商・農・福連携推進事業」。これは江南区重点事業です。障がい者の就労支援を目的に、区内の商・農業者と障がい者福祉事業所とのマッチングの仕組みづくりを構築し、仕事の受注や魅力ある授産品の開発及び販路拡大により障がい者の工賃アップのほか、商・農業者の人材不足の解消並びに企業のイメージアップを図る事業でございます。令和5年度の実施状況といたしましては、江南区商・農・福連携推進連絡会及び交流会を開催いたしまして、本事業について意見交換を行いました。現在は、地域システムの仕組みづくりのほか、イベント等における授産品の販売及びPRに向けた準備を進めており、今後はマッチングシステムの運用と魅力ある授産品の開発を進めていく予定でございます。令和6年度の方向性については、区内商業者、農業者とのマッチングによる障がい者福祉事業所の仕事受注の促進や、授産品の開発とプロモーションを実施し障がい者の工賃アップを図るほか、自走化に向けた検討も進めていく予定です。

○松屋地域総務課長

次に、2番「江南区安心・安全な地域づくりの推進」では、自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成や地域防災力の強化を図り、安全安心な地域づくりを推進する事業となっております。災害時において、円滑な避難助運営ができる体制の構築に向け、平時からの避難助運営委員会立ち上げに向けたワークショップを重点地域にて実施するほか、活動が低迷している自主防災組織を対象にワークショップを開催いたします。区内公立の中学校ではジュニアレスキュー隊育成講習会を開催し、8月の時点で未開催の1校は11月に実施する予定としております。避難所運営等の検討を機に、コミュニティ協議会単位での地域防災力の向上が図られていると感じておまして、また、感染症の影響により、減少していた防災訓練も過去3年間に比べ多く

なっており、中には活動を再開することに至らない自主防災組織も少なくないと思っております。令和 6 年度の方向性といたしましては、防災意識の啓発、地域防災力の向上に資する取組みを引き続き実施していきたいと考えております。

○古泉健康福祉課長

続きまして、3「地域で見守り・地域で子育て応援事業」についてです。地域の中で子育てを応援したい人、認知症高齢者を支援したい人を掘り起こし、地域全体で見守ることで、子育て世代や高齢者を支え、安心して暮らせる地域づくりを推進する事業です。令和 5 年度実施状況ですが、子育てについては、子育て応援団は区だよりによる周知のほか、10 月に農業関係者に対して周知を行う予定としており、子育て交流会は 11 月または 12 月に開催する予定でございます。見守りについては、江南区見守り隊メール配信、これについては区だよりによる周知のほか、区内タクシー業者に対して周知を行う予定としております。江南区見守りシール交付事業につきましては、対象者を申請に結びつけるため、介護認定審査内容を踏まえた申請勧奨を実施する予定にしています。成果・課題及び令和 6 年度の方向性について、子育てについては現在、172 人の方から子育て応援団に登録していただいております。引き続き登録者を増やす取組みを進めてまいります。また、子育て交流会については、回数が少ない子育て世代にもっと参加してもらいたいとの声もあることから、交流会の回数等も検討して事業を継続していきたいと思っております。見守りについても、見守りメール配信並びに見守りシール交付事業についての積極的な広報を継続するほか、見守りシールを身に着けた人への適切な対応方法についても広報を継続しております。

続いて、4「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」です。フレイルを予防することで健康寿命延伸を目指すとともに、区民福祉大会の開催により地域福祉について考える機会をもって、だれもが安心して暮らせることができる地域社会を目指す事業でございます。令和 5 年度の実施状況ですが、フレイル予防訪問については 9 月に大江山地区を対象に実施する予定でございます。区民福祉大会については 11 月 25 日（土）に江南区文化会館を会場に開催する予定です。また、今年度は 4 年ぶりに実践報告会、パネルディスカッションを行う予定としています。これまでの成果・課題についてですが、フレイル予防訪問については、大江山地区での実施により区内 3 圏域すべて

においてフレイル予防相談を実施することとなります。すでに実施済みの 2 圏域でのフレイル状況については、対象者の方々は健康でありほとんどの方がフレイル非該当でした。区民福祉大会については、地域福祉について考える機会として一定の成果があると考えていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあるとは思いますが、参加者の減少や新規参加者の開拓が課題となっています。このことを踏まえ、令和 6 年度の方向性については、フレイル予防訪問については、各種健康講座の充実や地域包括支援センター等と連携したフレイル予防の啓発など、個別から全体への周知に移行していきたいと考えております。区民福祉大会については、講演会のテーマや講師などを工夫するなどしながら事業を継続したいと考えています。

○塚本産業振興課長

5 番「横越総合体育館バスケットゴール更新」でございます。28 年間も使用したバスケットゴールをこのたびようやく更新することとなりました。もともと横越はバスケットボールが非常に盛んで、横越総合体育館におきましてもミニバスなどたくさんの方からご利用いただいています。9 月末までには対 4 基のバスケットゴールが更新される予定でございます。令和 5 年度でこの事業終了と言うことになっております。

○松屋地域総務課長

最後に、6「新潟市まちづくりパートナーシップ事業」は、行政課題の解決に向けて、区がテーマを設定し、広く募集しまして、その中から優れた提案事業を選定し、その提案者が行う取組みを補助するという制度で、今年度新たに予算化されました。今年度は記載のテーマとして募集し選定した結果、亀田にありますわたご酒店さんからの提案であります「はじまりの朝市」が選定されました。これは、亀田三・九の市の会場で、3 と 9 がつく日曜日にマルシェを開催するもので、地元農産物の販売のほか、キッチンカーの誘致、出店のバックアップとサポートを予定しております。第 1 回目を今月 13 日に開催したところです。引き続き、亀田三・九の市の活性化とともに、地元農産物の販売、PR、賑わい創出を図ってまいります。

次に、資料 1-4 をご覧ください。江南区の人口を中心としたデータにつきまして、時間の関係上、簡単ではございますけれども、ご説明させていただきます。まず、スライド 1、江南区の将来推計人口の推移でございます。2010 年をピークに江南区の人口が減少しておりまして、2045 年には 2020 年

と比較すると、総人口は約 17 パーセント減少する見込みとなっております。65 歳以上の老年人口は増加しますが、生産年齢人口、年少人口は減少が加速していきます。

次ページをご覧ください。スライド 2、2020 年と 2040 年の人口ピラミッドの比較となっております。少子化の影響によりまして、2040 年に人口構成は逆ピラミッドのような形になると見込みとなっております。

次に、スライド 3 です。自然動態はマイナス、社会動態はおおむねプラスとなっておりますが、自然動態プラス社会動態は全体としてマイナスとなっております。

次に、スライド 4 をご覧ください。左側のグラフで 10 歳から 19 歳では転出超過となっておりますが、10 代未満、20 代、30 代といったファミリー世代の転入超過により、右側のグラフのとおり、15 歳未満の年少人口割合が 8 区で 1 番高くなっています。

次に、スライド 5 です。世帯数が増加しておりまして、右側のグラフの世帯の内訳として単独世帯や夫婦のみ世帯が増加しています。

次のページをご覧ください。左側のグラフ、昼夜間の人口比率です。100 を超えているときは、通勤・通学人口の流入超過、100 を下回っているときは流出超過を表しているグラフになり、江南区は 100.0 ということで、流入する人口と流出する人口が均衡しております。右側のグラフは、携帯電話の位置情報を用いて推計をしました江南区内に 14 時の時点にいる人口のデータとなっております。買い物や外食などで訪れた江南区にいる人口が国勢調査の人口に対して年間を通して上回っている状況となっております。なお、これ以外の産業、農業、福祉、都市計画などのデータが必要ということであれば、各部会においてご請求いただければと考えております。本日の本会議終了後、この資料などを基に、区役所企画事業について部会で所管する事業を中心に提案やご意見を検討していただきたいと思っております。本日の部会での意見交換に加え、委員各個人からの提案、意見募集を行います。提案やご意見がある場合は、資料番号はふってありませんけれども、特色ある区づくり予算（区役所企画事業）に係る事業の提案等についてと記載の資料がありますが、この用紙に提案、ご意見を記載していただき、9 月 4 日（月）までに地域総務課企画広報グループまでご提出をお願いしたいと思います。この資料の裏面には、これまで出されました主な意見と事業への反映

状況について参考に記載しております。来月 9 月の自治協議会では、本日の部会の意見と提出いただいた委員個人からの意見を基に、部会としての意見を取りまとめていただきまして、各部会からの検討時に報告していただくこととなりますので、よろしくお願いたします。

○中野会長

ありがとうございました。だいぶ中身の濃い話でした。皆さんから、このことについてご質問等はございますでしょうか。今いただいたばかりの資料で、なかなか理解しにくいところもあるかもしれませんが、お話を聞いた中で、少し気になるなということがありましたら、ご質問をお願いいたします。

○小野直樹委員

酒屋町商工会の小野でございます。「地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり」というところで、今、各公共施設に行くと涼しげな亀田縞の姿を目にすることが多くて、PR も非常にうまくいっているのかなと思うのですが、もう一步踏み込んで、事業目的としましては、アイデンティティの醸成であるとか、利用の拡大をしたいというテーマからすると、やはり一步至らない部分があるかと思えます。2 年前だったかと思うのですが、区民はもとより、また企業であるとか団体がこういうふうに使ったというアイデアを募集したことがあったように記憶しております。今回の店舗の空間づくりに補助するというのも悪いことではないと思うのですが、改めて地域の団体であるとか、企業であるとか区民からアイデアをもらって、地域ブランドである亀田縞の利用促進に向けたというところを一步踏み込んでいけると、地域ブランディングがうまく回っていくのではないかと思います。意見させていただきます。よろしくお願いたします。

○塚本産業振興課長

ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思っております。私どももいろいろなチャンネルでPR し利用拡大を目指してはいますが、さまざまな企業や団体の中には、私たちが考えもつかないような部分をお持ちの方もたくさんいらっしゃると思います。来年度以降、そういった声を集めて、そういったアイデアと一緒に取り組ませていただけるような仕組みも少し考えてみたいと思っておりますので、今の小野委員のご意見につきましては、来年度事業の参考にさせていただきたいと考えております。

○田村委員

公共交通の関係で聞かせたいと思います。1番になります。直接、この事業とは関係ないのですけれども、新潟交通が新潟駅から古町まで、今、210円ですけれども、9月からでしょうか、260円になるという情報がありますけれども、私も区バスや住民バスに乗らないで大変恐縮なのですけれども、ガソリン価格等も高騰しているので、今後、区バスや住民バスも値上げについての見通しがあればお聞かせ願いたいと思います。

○松屋地域総務課長

ありがとうございます。新潟交通が値上げするのは9月からでございます。燃料費の高騰ということからすれば、区バスにつきましても同時期に値上げするのが、運行事業者からすれば一番いいのかもしれませんが、利用者からするとまた違う話になりまして、その辺、いろいろな利用者がございますので、今、検討をしているということで、上げるのか、上げないのかは今の段階ではお答えできない段階でございます。ご了承願いたいと思います。

○田村委員

多分、運行経費の中にガソリン代も入るので、経費がかかって運賃が同じだと、当然、収支率が下がるということになり、運行が厳しくなるということで、意見させていただきました。よろしくお願ひしたいと思います。

○石井委員

石井です。よろしくお願ひします。

4番の「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進」なのですが、私はこうなんふれ愛まつりの会場に足を運びまして、高校生と障がい者が一緒になったパフォーマンスなど、非常によかったと思って見ておりました。また、障がい者アート展にも行ったのですけれども、園によく行く私も、場所が非常に分かりづらいところなのです。会場に誘導するようなアプローチの仕方をもう少し工夫されるといいのではないかと感じましたので、意見をさせていただきます。

○古泉健康福祉課長

ご意見ありがとうございます。健康福祉課です。ご来場していただいて、明訓高校と1UPのコラボダンスなども今年度また実施する予定でございますので、ご来場いただければと思います。障がい者アートの設置場所になり

ますが、昨年の意見の中で、どうしても交流センター側のほうに飾ると、そちらにはなかなか人が行かないので、もう少し工夫してほしいというご意見がたしかあったと記憶しております。JRの施設の中で誘導の展示や手摺りなどいろいろな規定がありまして、置ける場所も決まっていたりします。そういう意見をもらった中で、実行委員会のほうで考えながら、なるべく多くの人が見やすい場所を考えながら設置していきたいと思っています。ありがとうございました。

○中野会長

ありがとうございます。ほかに皆さんからご意見、ご質問はありませんでしょうか。よろしいですか。

4. 報告

(1) 江南区自治協議会各部会の報告について

○中野会長

それでは次に、次第4「報告」に移ります。各部会の報告について、各部会長からご報告をお願いいたします。まず、まちづくり部会の田村部長会からお願いします。

○田村委員

まちづくり部会です。資料2をご覧いただきたいと思います。はじめに、1番の両川地区のまち歩きについてです。これについては、先月、事務局からルート案が提示され、両川地区代表の委員を中心にそれぞれの訪問スポットへ依頼をしていくこととさせていただきました。また、2番のマップ特集面については、両川は小阿賀野川と信濃川ということで大きい河川とともに発展してきた地域であることを掲載すべきだという意見がありました。特に酒屋地区は17世紀から船による舟運の拠点として発展してきた背景がありまして、これは、会津藩の陣屋設置という大きな出来事につながりました。また、18世紀から立て続けに村方騒動、村の暴動、そういったことが堤防の決壊などによる水害で農作物の収穫量が減少したことが深く関わっていたということから、こうした歴史なども取り上げていきたいと考えています。今日の部会では、訪問先に関する資料や行程表を確認して、9月22日（金）の部会で、まち歩きへの準備を進めていきたいと思っています。

○中野会長

ありがとうございました。

次に、安心安全部会の石澤部会長、お願いいたします。

○石澤委員

第4回安心安全部会の会議概要の報告をいたします。前回までの意見交換を踏まえ、各自が防災、子育て、高齢者のテーマから事業概要を提案しました。防災フェアを開催、あるいはパパママ銭湯を開催。自主防災組織や避難所の運営委員会の支援、グッズ作成など、ほかにも多くの提案がありました。5回以降には、この提案があったものの中から絞り込みを行い、方針を定めていきたいと思っております。

○中野会長

ありががとうございました。

次に、環境・教育部会の渡邊部会長、お願いいたします。

○渡邊委員

第4回の環境・教育部会について報告いたします。はじめに、スポGOM I大会について意見交換を行いました。日程につきましては、委員の都合や会場の空き状況を踏まえ、11月ごろに開催することとし、会場は、亀田西中学校にあたってみることにいたしました。大会のエリアは亀田西中学校エリアとし、安全面を踏まえ、今後決定することとしています。また、賞品はこれまでの同様、区内5地区の名産品とし、各委員が次回までに見当してもらうことにいたしました。参加賞につきましても、参加者全員に梨を用意することに決定いたしました。今年度、または来年度の事業実施に向けて意見交換を行いました。

○中野会長

ありがとうございました。

このことについて何かご質問等はございますでしょうか。

ないようでしたら、私から1点報告させていただきます。江南区の自治協議会委員の研修会についてです、10月4日（水）午後で事務局から調整を行っております。場所は曾野木コミュニティセンター、親松排水機場、天野河川防災ステーションの施設見学を行う予定です。詳細については事務局より案内が送付されますので、ぜひ、ご出席を御願いたしたいと思います。

議題と報告については以上となりますが、全体を通して何かございますでしょうか。

○小野委員

イベントの案内でもいいでしょうか。

○中野会長

どうぞ。コミュニティ協議会や団体で予定しているようなものはぜひこの機会にお伝えいただければと思います。

○小野委員

両川コミュニティ協議会の小野でございます。

2点ほど、両川地区のイベントについて紹介します。まず、9月1日、2日、酒屋まつりがございます。1日は午後7時から祭典、7時50分からお神楽舞があります。ちなみに、フルバージョンでのまつりとなります。また、車で来られる方は、酒屋町民の家の駐車場、または両川連絡所の駐車場を使っていただいて、そこからお宮までは徒歩で5分くらいでございます。

もう1点です。9月10日、カヌー体験会が小阿賀野河川公園酒屋広場で行われます。当日は、建設課主催のフィッシング大会もあります。その場所から100メートルくらい離れております、一応、案内では親子ペアで先着20組となっていますけれども、当日でも空きがあれば例年受けつけておりますので、濡れてもよい服装でぜひ参加をよろしく申し上げます。

○中野会長

ほかの地区でそういったイベント等の告知はありませんか。

○田村委員

かめだ祭りが明日、明後日の25日、26日です。区役所の入口にポスターが張ってありましたけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。今回、両川の商工会長のご都合が悪かつたのですけれども、横越と曾野木と大江山の商工会の会長から来ていただいて、大岩万燈のときですけれども、見ていただくことになっておりますので、ぜひ皆さんもお越しいただければと思ひます。4年ぶりの開催となります。よろしくお願ひします。

○伊藤委員

今、チラシを配らせていただきました。印刷がまだなのでカラーコピーですが、ほぼこの内容で印刷ができあがるのですけれども、「今日は一日袋津三昧」というイベントを9月24日にやります。江南区役所からも実行委員会と一緒に参加してもらっている形でやります。申込みは9月1日からなのですけれども、もし、まち歩き等にご興味があつたら申込みをしていただけ

ればと思いますし、まち歩きをしなくても、ゴール地点の伊夜日子神社のところにある伊夜日子会館に袋津の産物、亀田縞のお店の商品ですとか、袋津で工房を構えているアクセサリ作家の作品の展示販売ですとか、農作物、お酒の試飲、コーヒーの試飲販売などさまざま、ショップアンドカフェみたいな形でやっておりますので、まち歩きに参加しなくても袋津の魅力を堪能できます。また、亀田、袋津境界の昔の写真パネルなども展示しながら、袋津の魅力を発進するようなイベントを9月24日にやりますので、ご興味がありましたら、またご興味のある方に情報を伝えていただければと思います。

○中野会長

ありがとうございます。

ほかに、言い忘れたとかいったことはありませんか。そういえば、うちの地区ではこれをやるんだみたいなのか、大丈夫でしょうか。

5. 連絡事項・その他

○中野会長

次に、次第5「連絡事項・その他」になります。事務局からお願いいたします。

○渡邊地域総務課長補佐

事務局より連絡させていただきます。「江南区お店元気プラスキャンペーン」及び「わく灯籠」まつりについて産業振興課より御願いたします。

○塚本産業振興課長

産業振興課の塚本です。

先ほどの説明もございましたけれども、9月1日から11月30日かけて、お店元気プラスキャンペーンという形で、簡単にいうと半額にいたしますというような企画を実施いたします。昨年度に比べて11店舗増え122の参加店からご協力いただきました。お店で500円以上の購入もしくは飲食されると、その場でスタンプを押してくれたものを渡してくれます。それをまとめて、八つたまった場所のお店でボックスが用意してありますので、そこに入れていただければ自動的に抽選されるという形になっております。ちなみに昨年度は、応募件数からして1億円以上の売り上げがあったということで、地域のお店の貢献になっている企画でございます。できましたら、3か月間

の中で参加店に足を運んでいただいて、委員からもご参加いただければありがたいと思います。

わく灯籠まつりについて、8月11日から9月3日まで設置する予定だったのですけれども、台風の影響を考慮いたしまして、8月20日から9月の3日の期間中に、亀田配水路公園、亀田駅構内の広場にわく灯籠が設置してあります。昼間見てもいいのですけれども、できましたら夜になると非常にきれいになっています。もともと、田んぼで田植えをするときのわくに装飾を加えて明かりを灯したもので、亀田商工会議所が10年以上の取組みをした結果、200以上のわく灯籠が完成しました。わく灯籠で夕涼みの企画と、9月3日に1日限りのイベントでございますが、亀田市民会館を会場にわく灯籠まつりが開催されます。記載のとおりでございます。ぜひ、皆さんからもご参加いただければありがたいと思います。

○渡邊地域総務課長補佐

次に部会についてご連絡いたします。この後、第5回を開催いたします。まちづくり部会は入札室へ、環境・教育部会は301会議室へ、安心安全部会はこの会場でお願いします。お手数ですが、移動の際はご自分の名立てをお持ちになってお願いします。

○古泉健康福祉課長

健康福祉課からお願いがあります。先ほど少しお話いたしました「こうなんふれ愛まつり」が10月15日に開催ということで、亀田駅でもアート展も開催します。アート展の中で、障がい者アート展ということで、かなり大きなモザイクアートを展示するというので、区民の方の笑顔の写真をだいたい800枚ほど集めなければいけないということで、今、集めているところです。今年度は、障がいのある方が北方文化博物館を描いた絵がありまして、それをモザイクアートにしたいと考えております。

それをお願いなのですが、今日、部会のほうで、協力してくれる方は笑顔をお願いいたします。回りますので、協力してくれる方は笑顔をください。よろしくお願いたします。ものすごく小さくなるので、当日、それを探していただくという楽しみもあります。あまり枚数が集まらないと同じ人がいっぱい出てくることになりますので、なるべく多くの人から参加していただいて、ご自分なり知っている人の顔を探していただくといった楽しみもありますので、よろしくお願いたします。

○中野会長

ありがとうございました。私も見たことがありますけれども、本当に小さいです。どこにいるか分からないくらいで、全体を見ると絵になっているのですけれども、個々の顔写真はほとんど分からないかもしれません。ぜひご協力いただける方はよろしく願いいたします。

最後、私から。9月5日に新潟市自治協議会全体研修会があります。研修会に参加される方にはお手紙がいていると思うのですが、そのときに、もし参加される方、自治協議会のポロシャツでもいいですし、江南区の親善大使のポロシャツをもしお持ちであれば、着用で参加していただけると、江南区のパワーが一致団結して素晴らしいなとほかの区から思っていただけかなと、こざかしいことを企んでおりました。もし、なくても全然かまいません。もしお持ちの方がいらっしゃったら、着て参加していただけるといいなと思っていますので、よろしく願いいたします。

6. 閉会

○間島委員

本日予定されておりました議事はこれで終了いたしましたので、閉会いたします。

次回、令和5年度第6回目の自治協議会は、9月28日（木）午後1時30分から、部会を先に開催し、その後、本会議をおおむね午後3時から開催します。会場は各部会によって異なるため、開催案内文書に会場を記載いたします。ご確認をお願いいたします。

お疲れさまでした。ありがとうございました。